



日本アマチュア無線連盟



令和7年度 ALLJA コンテスト&アイボール会開始前の勢揃い



大量の落ち葉が落ちていました



楽しいアイボール会



コンテスト参加も必要

土浦アマチュア無線クラブニュース 令和7年 6月号

おしらせ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 4月26、27日 ALL JA コンテスト参加とアイボール会が竜ヶ峰山荘にて開催されました

初日はコンテスト開始前に恒例のアイボール会が行われましたが、山荘には大量の落ち葉があり、午前9時から12名の有志による清掃が実施されました。想像以上の落ち葉量でした。有志の皆さんご苦勞様でした。その後、JA1PBV,JE1RLK、JG1IIF,JJ1ATZの4名の皆さんが水道取水口の清掃、整備に携わっていただき山奥の厳しいところ本当にご苦勞様でした。

アイボール会は午後2時から18名が参加し、バーベキューやお好み焼きなどを楽しみながら無線談義に花を咲かせました。料理担当されましたJF1KZD、JN1VVEのお二方ご苦勞様でした。夕方6時頃JG1IIF林 新会長の挨拶があり、アイボール会はお開きとなりました。

コンテストには宿泊者を含む8名が待機し、議論やら、楽しいお話中のまま9時からのコンテストが開始。結果として参加者は2名となりました。翌日は撤収作業を行い、午前11時に解散となりました。最後まで何かと活躍された皆さんご苦勞様でした。

- ・落ち葉清掃者；JA1PBV,JA1XVT,JE1NVN,JE1RLK,JF1MFE,JF1PEL,JG1IIF,JH1WGP,JJ1ATZ,JJ1VLM,JM1MIC,JQ1QMU, (以上12名)
 - ・アイボール会参加者；JA1IOA,JA1MXM,JA1PBV,JA1XVT,JE1NVN,JE1RLK,JF1KZD,JF1MFE,JF1NKS,JF1PEL,JG1IIF,JG1JLU,JH1WGP,JJ1ATZ,JJ1VLM,JM1MIC,JN1VVE,JO3JRU (以上18名)
 - ・宿泊者；JA1IOA,JA1PBV,JE1RLK,JF1KZD,JF1PEL,JG1IIF, (以上6名)
 - ・コンテスト参加者；JF1KZD,JH1WGP (山荘) 個人参加者；JA1CCN,JH1PRV,JR1CCP.
- ◎ 今回もJA1XVT 関さんから飲み物差し入れ頂きました。ありがとうございました。

★ 5月17日(土) 四中地区公民館で役員会が開催されました

議題は、①令和7年度事業計画前半の具現化、②会報600号記念特集号プロジェクトチーム計画審議の二点について実施しました。

①の主な項目(抜粋)は以下の通りです

- ・6月1日(日) “2025 いばらきハムの集い”のお手伝いの作業分担とお手伝いメンバー配置の決定
- ・7月の予定

1) 第46回オール茨城コンテスト第二部参加/アイボール会 (於：竜ヶ峰山荘) (第55回6m AND DOWN コンテスト併設)

- ・コンテスト日時：7月5日(土) 21:00～6日(日) 15:00
- ・アイボール会：7月5日(土) 午後5時(一般会員午後3時集合役員午後2時) 会費 1,000円/一人
- ・山荘除草作業 7月5日午前7時開始(雨天時の態度6時決定：会長) 朝食用意いたしますので、ご協力をお願いいたします。

2) 栃木・茨城合同ミーティング7月20日(宿泊無し) 場所：宇都宮市ろまんちっく村 詳細わかりましたらお知らせいたします。

②については、次ページ

会報通巻 600 号記念特集プロジェクトチーム結成のお知らせと計画

実行委員長 JH1WGP 大木 武

いつも会報をご愛読そして、記事の投稿を頂き誠にありがとうございます。このたび、既報の通り我々の会報が通巻 600 号という大きな節目を迎えるにあたり、記念特集号を制作するプロジェクトチームを結成する運びとなりました。

この特集号では、これまでの 600 号の歴史を振り返り、今後の展望を皆さまにお伝えする内容を予定しています。そのため、プロジェクトの成功に向けて多彩な文章やアイデアを提供して下さるようお願いいたします。

一緒に 600 号記念特集を成功させましょう！

プロジェクトチームは以下のメンバーです：（9 局及び顧問）

JG1HIF, JA1PBV, JG1HJV, JF1MFE, JH1WGP, JO1LEA, JN1VVE, JR1CCP, JO3JRU

歴代会長にも顧問としてご協力頂けることになりました。

歴代会長：JA1HOA, JA1XVT, JE1OON, JE1RLK, JF1KZD, JF1PEL, JI1WLL, JJ1ATZ, JJ1VLM, JL1SUJ. (退会された方、プロジェクトチームを除く)

【600 号記念特集号計画概要】

1) 最初の作業（5 月～6 月）

- ・外部への寄稿要請 6 月、クラブ員からの寄稿開始 6 月
- ・特集号の内容検討
表紙デザインとレイアウト

2) 原稿締め切りと編集作業（6 月～9 月）

- ・原稿締め切りは 8 月 31 日とする。
- ・編集作業開始。

3) 印刷前の校正作業（9 月）

4) 最終確認と印刷、製本、発送（10 月）

以上

通巻 600 号記念特集号記事投稿のお願い

今年の 11 月号で通巻 600 号を迎えます。そこで 6 月から記事のお願いを開始いたします。締め切りは 8 月 31 日と致します。

期間は、三ヶ月ありますが、あっという間です。その間通常の会報発行もしていかなければなりません。5 月 20 日現在会員数 54 名です。全員の皆さんからの寄稿と出来るだけ早めに投稿頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

書き方の参考として

土浦アマチュア無線クラブの HP から 400 号（2009.3 月号）、500 号（2017.7 月号）の特集号が見られます。また過去の記事などを抜粋して載せる予定です。書く事が苦手な方には、TEL でも構いませんし、CQ 誌のショートブレイクのような短文でもいいです。ただ我々はアマチュア無線家ですので無線に関する事は入れてください。

歴史探訪

JR1RMS 池田孝博

所用で長崎県へ行くことになったことから、この機会に雲仙市にあるアマチュア無線機器歴史館を訪ねてみました。

この施設は長崎県のハムショップ「ハムセンター長崎」が、歴史的な無線機器を展示する博物館として運営しているものです。その日は本来休館日だったのですが、ハムセンター長崎の大久保 OM のご厚意により見学させていただくことができました。

同館には昭和期からの各種アマチュア無線機器

100 台以上が展示されているとのこと。当日は地元雲仙市の JA6OCJ 藤原 OM がわざわざ来てくださり、色々ご説明して下さいました。

館内には旧春日無線工業(現 JVC ケンウッド)のアマチュア無線用送信機第 1 号となった TX-1をはじめ、R-599 や八重洲無線の FT-101、FT-200、FT-DX400、コリンズ S ライン、ドレーク T-4XC、さらには戦時中のもとおぼしき(漢字表記の)正体不明の無線機等々、往年の名機やら珍機やらが、所狭しと並べられておりました。

トリオの TR-1000 や井上電機(現 ICOM)の FDAM-3、さらには NEC の CQ-P6300 等のレア物も。小形のカバンほどもあるこれらの重たい無線機が、当時はハンディートランシーバーと呼ばれていたことを思うと時の流れを感じます。

そのほかご当地の OM さん方の自作機などの展示もあり、まさにアマチュア無線の歴史を辿れるひとときを過ごしてきました。

同館は毎月第 3 日曜日だけが開館日であり入館無料で、ご当地の OM 方の憩いの場ともなっているようです。

建物は明治時代の物らしく、かつては造り酒屋だったという歴史のあるもので古いながらも趣があり、往時の隆盛を物語っています。またこの界限は、旧鍋島藩の藩主や家臣たちの住まいであった武家屋敷などが今に残る、伝統的建造物群保存地区にも近く、散策してみるのも面白そうでした。

長崎へ行かれる機会がありましたなら訪ねてみてはいかがでしょうか。一見の価値あり。問い合わせはハムセンター長崎へ。(アマチュア無線機器歴史館 雲仙市 で検索しました。写真の人物は案内してくださった JA6OCJ 藤原 OM です。)追記 私が長崎を訪れた期間は ALL JA コンテストとも重なったのですが、6m に関してはとても静かな状況でした



筑波山移動記

JR1RMS 池田孝博

GWも後半に入った5月3日、雲ひとつない快晴の日にやることも出かける予定もない私は、思いつきで筑波山に登ってきました。

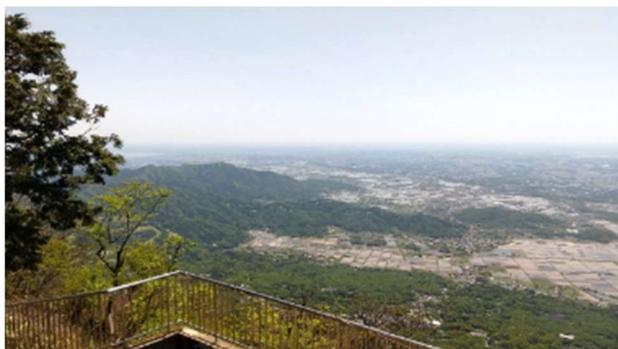
ウエストバッグの中身は6mのハンディートランシーバー1台(自作の1WSSB機)と紙ログ、従免、ボールペン、ペットボトルのほうじ茶とお小遣いが少々。まあ、いつもの気楽な私の移動スタイルです。筑波山神社辺りに着くとPはどこも満車。たまたま空いた所に車を置きケーブルカーで山頂へ。



半世紀前に行った時には山麓駅はもっと近いと感じましたが、私の思い違いか。

汗だくで男体山頂に登りきったのは12時ちょうど。お昼時だしGWともなれば皆どこかへ出かけてオンエア局は少ないかと思いましたが、ロッドアンテナを伸ばすと数局が聞こえました。朝日峠とはひと味がうようです。おみくじ売り場があったので帰りに一つ引いてみようかと思いながら2~3局と交信したところで、おみくじ売り場のおじさんが出てきて「ここでやらないですよ☘️」と半ギレ気味に言うので、おみくじは買わずに少し下にQSY。

1時間ほどで5局と交信しました。私としては上出来です。うち1局は日光霧降高原移動の局で、0.5WのDSB機とのこと。DSBの局とは初めて交信しました。私の認識ではDSBでも抑圧搬送波ならばビートはかからないと思っていたのでキャリア漏れかと思いましたが、つまりは抑圧搬送波ではなくAMだったのか。いずれにせよゼロビート



でFBに

交信できました。QRPでしか味わえないスリルと面白さがあり、私の好きな2WAY QRP達成です。ほかに長野県松本市の移動局と、コールサインの交換は出来ましたがそれ以後が了解してもらえず交信不成立。直線距離200kmほどでしょうか。大がかりな装備は持ち歩かないのが私のスタイルなので十分楽しめたし、帰りには八郷の直売所で野菜を買ったり真壁の喫茶店でログづけしたりして、よい一日を過ごすことができました。

ケーブルカーの切符は小さな旅の思い出にログブックに貼ることにしました。



追記、男体山登山口にある食堂のけんちん蕎麦はなかなか美味でした。

【4月26、27日 ALLJA コンテスト参加&アイボール会写真集】

まずは落ち葉清掃から



水道取水口清掃も必須です。取水口までの道のりが難儀、到達しても難儀 ご苦労様です



アイボール会開始は火起こしから 待ち人さん

いよいよ焼き始まり



アイボール会佳境に入る

料理担当方ご苦労様です



楽しい二日間となりました。コンテストにも参加しました。最後の片付けされた皆さんご苦労様でした



600号記念特集号への投稿の参考として

事務局 JH1WGP

会報第1号は昭和49年10月5日となっています。その後、昭和59年2月1日に100号を迎えています。この100号では特に特集号は組まれていません。そして200号から特集が組まれるようになりました。

← 通巻200号記念特集

1992年7月1日

この特集号には、故JA1AN原会長様、茨城県支部長JH1UBU根本様から寄稿を頂いています。

今回は、通巻500号以降入会された会員の皆様に参考としてJF1PEL、JG1TPWのお二方の記事を選らびさせていただきました。

創刊200号によせて

土浦クラブ会報創刊200号おめでとうございます。一口に200号と言いましても毎月発行して実に16年間、事務局の方々の努力と会員各局の協力があるはじめて成し得た偉業だと思います。

私も過去に事務局を2年間担当させて頂きましたが、記事が少ない時などは何を書けばよいやら本当に困ってしまった記憶があります。今後更に300号、400号と発行出来ますよう会員各局の御協力をお願い申し上げます。

de JF1PEL

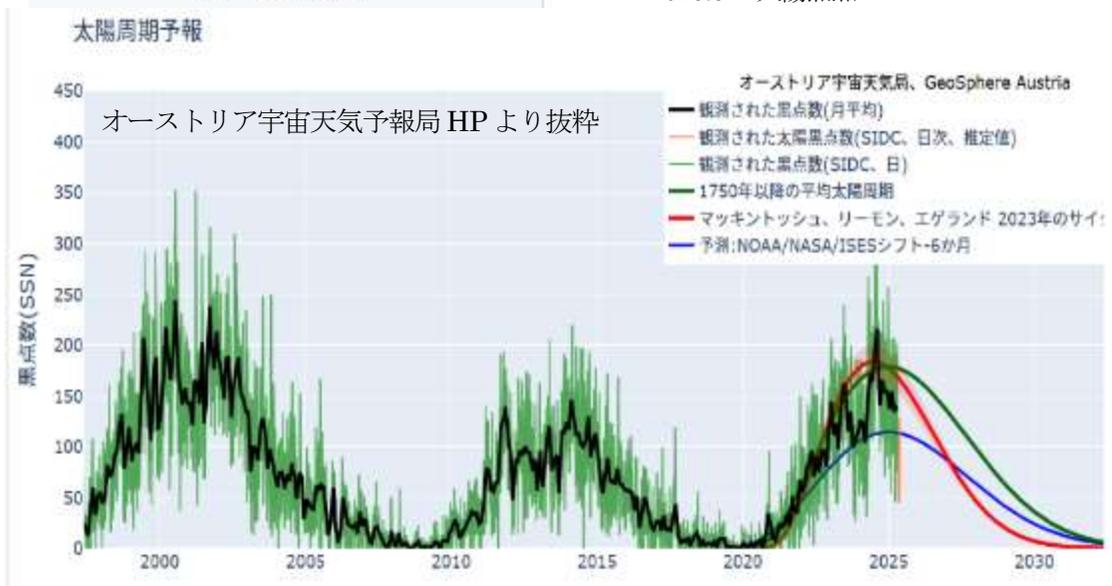
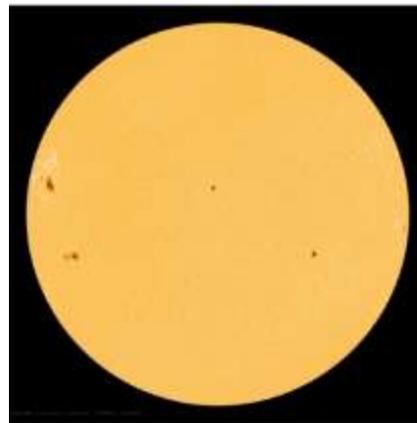
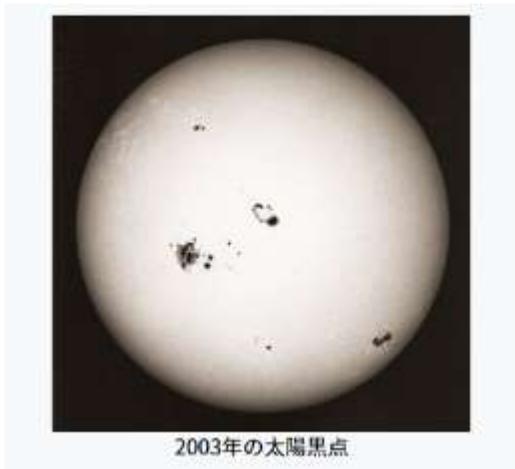
◆土浦クラブ会報創刊200号によせて

200号記念おめでとうございます。ここまで来た年月の重さを感じると共に、土浦クラブを象徴しているようにも思います。一月に一回のコミュニケーションの手段としての役割は十分に果たして来ていると思いますし、今やクラブにとっての変遷史であり貴重な財産でもあります。通過点ではありましたが、携わってきた一人としても感慨深いものがあります。当初は、鉄筆に謄写版であったことも聞いておりますし、この言葉を知る限り時代背景を説明する必要はあまりないでしょう。時代が変わって便利にはなっているものの地味な活動には違いなく、これからも長く続けられて、やがて300号そして400号を迎える日が来ると思います。その頃には土浦クラブのメンバーも高齢者が多くなることでしょう。(ひょっとして敬老クラブなるものができたりして・・・?) そして、近い将来にはコンピューターを駆使して電子メール等によって会報が届けられる・・・と言うことも。こんな夢を描いています。

de JG1TPW

太陽黒点の推移

JH1WGP 大木 武



サイクル 23 (1996.5~2008.12) の時当局は、定年退職前後の時期で、21MHz、モードはSSBにてQRA,QTH,信号強度と本日の天気程度のラバースタンプQSOでしたが楽しかったです。現在と比較すると黒点も大きかったようです。

今年は、予報通りサイクル25のピークの様です。サイクル23のようなFBなQSOを期待しています。 **HF ハイバンド 18MHz~28MHz** で**サイクル25 無線**を楽しみましょう！

~~~~~  
 皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

|                                               |     |                      |                   |
|-----------------------------------------------|-----|----------------------|-------------------|
| 令和7年度 第                                       | 3 号 | 通巻 595 号             | JARL 登録番号 14-1-18 |
| 発行日: 令和 7 年 6 月 1 日                           |     | 発行者: 土浦アマチュア無線クラブ事務局 |                   |
| オンエア ミーティング: 毎週月曜日 PM9:00~ 土浦レピータ (439.70MHz) |     |                      |                   |